

新年度予算案の審査から

3月定例会では新年度の予算について適正な審査が行われました。
委員会ではどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

高齢者運転免許 自主返納促進事業

問 高齢者の声を実際に聞いた結果で、知多バスの回数券とタクシーチケットにしたのですか。

答 今回の事業については、あくまでも交通安全の観点で、特に意見は聞いていませんが、高齢で運転が危険になることから免許の返納を促進するための事業と考えています。

問 高齢者に優しく、生きがいの観点からも発展的に考え、メニューを増やすことはできませんか。

答 現在、事業スタートの段階で、今後、返納していただける方たちとお話することも出てきますので、成果を見ながら将来を見据えて前向きに考えていきます。

公共交通対策事業

問 地区路線バス「ごんくる」の今年10月からの正式運行にあたって、例えば待合環境の整備等、改良するための予算の考えはありますか。

答 地域公共交通会議のほか、各地域に入っご意見を聞いています。路線の見直し、

バス停の増減や移動等は、新年度予算の中で十分対応できると考えています。ハード的な面では、一定の方向性が見えれば補正予算を計上してでも対応していきます。

新病院建設及び経営形態

問 市民への説明責任をどのように考えていますか。また、説明するのであれば、いつ頃どのような条件が整ったらできるのですか。

答 公表できるものは公表したいと考えていますが、常滑市と軌を一にして行いたいと考えています。診療科目の分拍案まで整え、概略を確認したうえで、今年の12月までには場を持たなければならぬと考えています。

新病院建設事業

問 設計用入力地震動評価等というところで2,300万円ほど使う予定ですが内容は何ですか。

答 内容は、アクセス道路整備、備事前調査業務委託、環境影響評価業務委託、設計用入力地震動評価業務委託、病院用地測量業務委託で、別々に発注し契約するものです。

文教厚生委員会

地域型保育事業

問 平成31年度、3歳未満児を対象にした保育施設を新たに2園開所し定員を36名増やすとのことですが、これで待機児童は解消されますか。

答 保育ニーズの高い青山区と乙川地区での開所に加え、私立の半田同胞園にて分園が開園して定員が拡大されることから、待機児童は生じないと見込んでいます。

いじめ・不登校対策事業

問 いじめ・不登校について半田市の現状とそれを踏まえて、どのような対策で取り組んでいきますか。

答 昨年度以降、不登校児童が減少から増加に転じているため、適応指導教室の教育相談員を1名増員し、各校の巡回や公民館等の分室に通う児童生徒への指導や相談を行います。またスクールソーシャルワーカーを常勤とする等、体制の拡充を図ります。

コミュニティ・スクール推進事業

問 なぜ、コミュニティ・スクール推進事業を行うのですか。

答 これまでの学校運営支援協議会の組織を活用し、地域に理解と連携、協力等を求めて一体となり、また新たな人材を募ることで、地域ごとに特色ある「より良い学校づくり」を推進するためです。

問 この事業の意義や有効性を地域へどのように浸透させていくのですか。

答 この事業をわかりやすく説明したりリーフレットの配布や学校運営協議会等で丁寧な説明しながら、地域への理解促進に努めます。

国民健康保険乳がん検診助成事業

問 事業の内容と受診の見込み人数、がん検診の中で乳がん検診に補助を行うとした理由はなぜですか。

答 事業内容は30歳〜74歳の女性被保険者を対象に、30歳〜39歳の方の超音波検査は400円、49歳〜74歳の方のマンモグラフィ検査は700円助成します。また1400人程度の受診を見込んでいます。補助の対象を乳がん検診とした理由は、乳がんの治療が高額になること、半田市において乳がんが死因となるケースの方が多いためです。